



# 栃木県公報

平成28年  
12月4日(日)  
号外  
第75号

## 目次

### 公 告

○栃木県民栄誉賞の受賞者の功績..... 1

## 公 告

### ○栃木県民栄誉賞の受賞者の功績

栃木県民栄誉賞規則（平成13年栃木県規則第82号）に基づき、下記の者に栃木県民栄誉賞を授与したので、同規則第3条第2項の規定によりその功績を公示する。

平成28年12月4日

栃木県知事 福田 富一

萩野 公 介 氏 (22歳)

平成6年8月15日、栃木県小山市生まれ。競泳選手。小学校1年の夏から小学校2年の終わりまで父親の仕事の都合で愛知県名古屋市に在住し、名古屋市中村区のスイミングスクールに入る。小学校3年生時に名古屋市から小山市（小山市立羽川西小学校）へ戻ると「みゆきがはらスイミングスクール」（宇都宮市）に入り、そこから本格的に競泳選手コースへ進んだ。作新学院中等部、高等学校を経て、現在、東洋大学4年生。

小学校低学年から学童記録を更新。中学・高校・大学と各年代で新記録を樹立。大学進学を機に北島康介を育て上げた平井伯昌氏に師事。本人が目標とする選手の一人にマイケル・フェルプスをあげていることと、これまでの活躍ぶりから「和製フェルプス」とも呼ばれている。

萩野公介氏は、これまでに平成24年のロンドンオリンピック、平成25年のバルセロナ世界水泳選手権大会、平成26年の仁川アジア競技大会での活躍により3度栃木県スポーツ功労賞を受賞しているが、今年のリオデジャネイロオリンピックにおける氏の輝かしい活躍は、高い注目を受けている中で複数の種目にエントリーし、金メダルを獲得するなど、県民のみならず日本中に希望と活力を大いに与え、栃木県の名声を高めたと認められることから、この功績を讃え栃木県民栄誉賞を授与した。

なお、主な国際大会での活躍は、以下のとおり。

平成24年：ロンドンオリンピック男子400m個人メドレー決勝で日本新記録をマークし、同種目で日本人選手初の銅メダルを獲得

栃木県スポーツ功労賞を受賞（1回目）

平成25年：バルセロナ世界水泳選手権大会で7種目に出場し、400m自由形銀メダル（日本人として53年ぶりのメダリスト）、200m個人メドレー銀メダル（同種目日本人初）を含む全種目で入賞

栃木県スポーツ功労賞を受賞（2回目）

平成26年：仁川アジア競技大会で7種目に出場し、全種目でメダルを獲得

金：200m個人メドレー、200m自由形、400m個人メドレー、800mフリーリレー

銀：400m自由形

銅：100m背泳ぎ、200m背泳ぎ

同大会MVPに選出（日本人史上3人目）

栃木県スポーツ功労賞を受賞（3回目）

平成28年：リオデジャネイロオリンピック男子400m個人メドレー決勝で日本新記録をマークし、同種目で日本人選手初の金メダルを獲得

同男子800mフリーリレーで東京オリンピック以来52年ぶりとなる銅メダルを獲得

同男子200m個人メドレー銀メダルを獲得

(人事課)